

学校 教育 目標	『自らの生き方を切りひらく子どもの育成』～やさしさ いっぱいかがやく えがお～							
	【知】自分らしさを発揮する子どもの意欲を引き出すようにします。 【徳】信頼と思いやりをもって、共に生きることのできる素晴らしさを実感できるようにします。 【体】自ら進んで心を育て、体づくりができるようにします。 【公】豊かなかかわり合いを通して、主体的に行動する力を育てていきます。 【開】地域を愛し、地域に学ぶ姿勢を大切にします。							
学校 概要	創立 148 周年	学校長	中嶋 弘喜	副校長	入部 和也	2 学期制	一般学級: 15	個別支援学級: 4
	児童生徒数: 495 人		主な関係校: 緑が丘中学校 山下みどり台小学校					

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈自分づくりに関する力〉 〈問題発見・解決能力〉 〈心身ともにたくましく生きる力〉	・緑が丘中学校 ・山下小学校 ・山下みどり台小学校 ・谷本小学校 ・藤が丘小学校	○基本的な生活習慣を身につけ、すすんで学習に取り組む子ども ○人との関わりを通して、自己を認め、他を大切にすること ○年3回以上の小中一貫教育の共同研究を行っています。 ○相互の授業参観、研究討議、児童生徒、教師間の交流を推進します。 ○緑中ブロック小中一貫カリキュラムの運用・改善を行います。

中期 取組 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な事象、場面において、問題や課題を発見し、意欲的に解決にむけて努力する子どもたちをめざします。</li> <li>・豊かな言語活動と実感を伴った理解を深め、問題や課題に対して、見通しをもち、取組みを振り返りながら、他とかかわりながら意欲的に取り組ませます。</li> <li>・学習のわかる楽しさを実感できる授業づくりを推進し、問題解決的な学習を充実します。</li> <li>・まちの「人・こと・もの」とのつながりを意識し、特色ある教育活動を進めるとともに、まちを愛する心を育てます。</li> <li>・規範意識や人権を尊重する心、社会参画意識を高めていきます。</li> </ul>
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①国語の重点研テーマを「言語活動を通して、主体的に考え、自分の言葉で表現し、学び合う力を育む」と設定し、言語活動の充実を図ると共に表現力・コミュニケーション力を向上させる。
担当 重点研推進委員会	②語彙力を身に付けさせるとともに、単元計画を工夫し、聞く力を向上させる。
確かな学力	①一部教科担任制や少人数指導、取り出し指導を導入し学力向上を図る。 ②朝学習を授業時間としてカリキュラムに位置づけ、基礎的・基本的な知識・技能の習熟を図る。 ③体験的な学習活動や必要感のある課題を通して、子どもたちに実感の伴った授業を展開する。
担当 教務部	
豊かな心	①『横浜プログラム』、校内縦割り班活動を意図的に実施し、児童理解・学級集団理解を進め子どもの自尊感情・自己肯定感を育てる。②「ひとものこと」とかかわる様々な教育活動を充実させ、自然体験や生活体験を豊かにし、規範意識や人権を尊重する心、社会参画意識を育てる。
担当 人権委員会	
健やかな体	①週1回、「ロング昼休み」を設定し、体力づくりを進める。また、月1回の全校ロングでは、長縄を中心に体力・集団力を高める。さらに体育館の活用を進める。②生活指導、保健指導、給食指導を中心に、自分の健康の保持・増進に必要な知識・技能を獲得させていくとともに、実践していく力を育てる。
担当 体育部	
未来を開く志	①地域の材(梨園、田、畑、公園、商店街)に積極的に関わり、地域とともに学校教育を進める。 ②地域の人たち(自治会、社会福祉協議会、福祉施設等)と積極的に関わり地域と共に学校教育を進める。 ③地域の人たちと関わることで、その人たちの人間性に触れ、他者のよさを自分に生かそうとする。
担当 教務部	
児童・生徒指導	①「山下小学校スタンダード」を活用し、全職員が共通の指導内容で児童一人ひとりとかわっていく。 ②職員会議・研修を通して、児童にかかわる対応について共通理解の場を設定し、組織的に対応する。
担当 児童指導・特別支援委員会	
特別支援教育	①配慮を必要とする児童への支援体制について特別支援校内委員会や児童指導委員会の中で検討・共通理解する場を設け、職員の理解を深める。 ②個別の支援計画・指導計画を活用し、学級活動、教科指導に生かしていく。
担当 児童指導・特別支援委員会	
地域連携	①学校だよりや学校ホームページ等で積極的に学校から、情報を発信する。②PTA行事や地域行事に職員が計画的に参加することで、保護者や地域の人と協働して子どもたちを育む。③教育推進懇話会では、学校が抱える課題を情報共有し、地域と共に学校づくりを行っていく。
担当 地域連携担当	
いじめへの対応	①いじめ防止対策委員会の機能を高め、いじめの未然防止に努める。 ②職員・保護者・地域との連携を密に行い、いじめの未然防止、早期発見につなげる。 ③関係機関と連携し、組織的な対応に取り組む。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①メンターチームを五年次以下の教職員を中心に組織し、月1回自主的自立的に研修・研究を行う。 ②チームで対応を行うことによる組織力の強化や教務会・諸会議における学校運営にかかわる情報交換等で、多様化・複雑化する学校現場に対応していく。③グループウェアを活用して情報の共有化を図ったり、eラーニング等を活用して効率的に研修を進めたりする。
担当 メンター研担当・教務部	